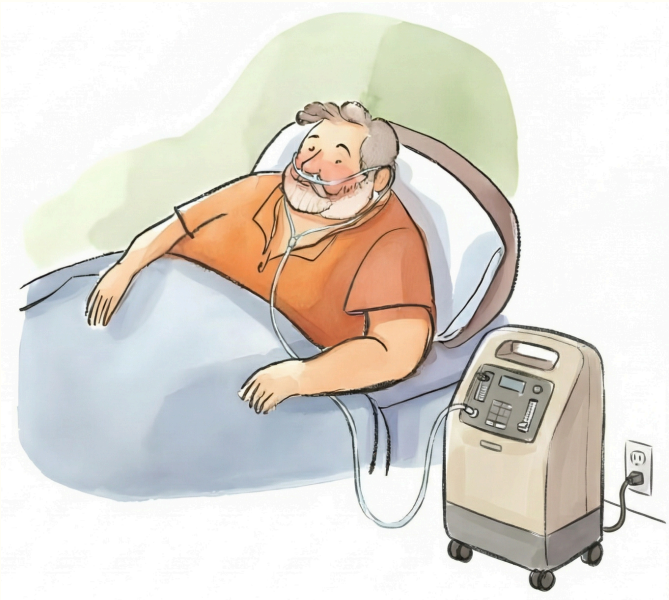
げんまい新聞

第42号　日々の在宅医療介護に役立つ知恵と情報をお届けします

製作者
玄米
クリニック
西原町翁長834
トムズビル2階
☎098-944-6663

安心できる「在宅酸素」の暮らし方 ～ご家族が知っておきたいケアのポイント～

「お家で酸素を吸うことになりました」医師からそう告げられたとき、多くのご家族は「家で医療機器を管理できるだろうか？」「火事になったりしないだろうか？」と不安を感じるものです。
でも、大丈夫です。在宅酸素療法（HOT）は、患者さんが住み慣れた家で、その人らしくリラックスして過ごすための「元気のサポーター」です。今回は、高齢者を支えるご家族が知っておきたい、管理と見守りのコツをわかりやすく解説します。



1. そもそも「在宅酸素」ってどんな機械？

主に2つの道具を使います。

1. **酸素濃縮装置（設置型）**

- お部屋の空気を取り込み、濃い酸素を作って送り出す機械です。電気で動きます。「酸素を作る空気清浄機」のようなイメージです。

2. **酸素ボンベ（携帯用）**

- 通院や散歩など、外出するときに使います。電気は使いませんが、中身（残量）に限りがあります。

2. これだけは守って！「火気厳禁」の鉄則

酸素には「ものを燃えやすくする性質（支燃性）」があります。酸素自体が爆発するわけではありませんが、火がつくと普段より激しく燃え広がってしまいます。

⚠️ **絶対に守ってほしいルール**

- タバコは厳禁： 患者さん本人はもちろん、同室でのご家族の喫煙も絶対にやめてください。
- 火のそばに近づかない： 調理中のガスコンロ、仏壇のローソク、線香、ストーブなどから2メートル以上離れてください。
- IHや電気ストーブがおすすめ： 可能であれば、暖房や調理器具は火を使わないものへの切り替えを検討しましょう。